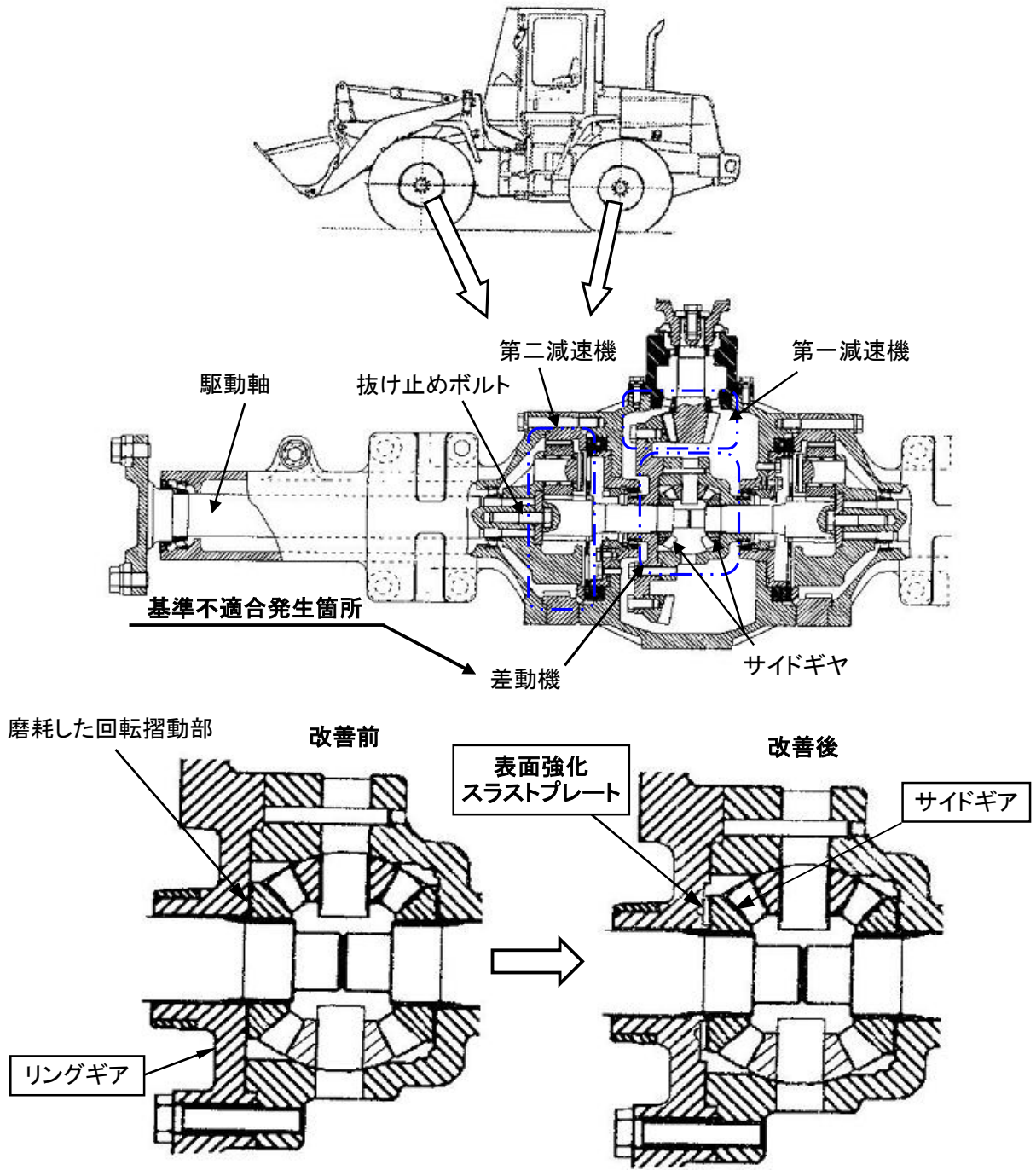


改善箇所説明図



第一減速機のリングギヤ取付部の強度が不足しているため、差動機の左側サイドギヤとの摺動面が磨耗する場合があります。そのため、そのまま使用を続けると、第二減速機の駆動軸が軸方向に押され、駆動軸の抜け止めボルトが折損し、最悪の場合、駆動軸が車輪ごと抜け出て、走行できなくなるおそれがあります。

- 全車両、
- ①リングギヤを対策品と交換するとともにサイドギヤとの摺動面に表面強化熱処理を施したスラストプレートを追加する。
 - ②左側サイドギヤを新品と交換する。
 - ③リングギヤ取付部の磨耗深さが4mm以上の場合、駆動軸の抜け止めボルトを点検し、異常が認められた場合、当該ボルトを新品と交換する。

は対策部位を示す。

識別：第一減速機への入力軸側で、第一減速機と差動機が組み込まれているケース表面に白丸のペイントを実施する。